

創立60周年記念式典及び 第56回優良従業員表彰式

公益社団法人 東京ビルメンテナンス協会



会長あいさつ

東京ビルメンテナンス協会
会長 佐々木浩二



創立60周年記念式典及び 第56回優良従業員表彰式 開催報告

令和4年6月20日(月)、東京国際フォーラムにおいて、令和4年5月に当協会が創立60周年を迎えたことを記念し、創立60周年記念式典を第56回優良従業員表彰式と合わせて開催した。

本特集ではそれらの内容を、当日の様子とともにお伝えする。

<創立60周年記念式典及び第56回優良従業員表彰式>

- 開催日時：
令和4年6月20日(月) 14時から16時
- 開催場所：
東京国際フォーラム Cホール

<創立60周年記念祝賀会>

- 開催日時：
令和4年6月20日(月) 17時から19時
- 開催場所：
東京會館3階「ローズ」

会長あいさつ

本日、ここに東京都知事 小池百合子様、公益社団法人全国ビルメンテナンズ協会会長 戸隆男様、参議院議員で公益財団法人東京オリピック・パラリンピック競技大会組織委員会会長 橋本聖子様をはじめ、多数のご来賓の皆様をお迎えし、公益社団法人東京ビルメンテナンズ協会創立60周年記念式典及び第56回優良従業員表彰式を挙行いたします。



佐々木会長

協会は、昭和37年の設立以来、昭和39年の東京オリピック選手村清掃事業の受託、建築物衛生法の施行などを経て、飛躍的な発展を遂げてまいりました。現在、正会員510社余、賛助会員約70社を擁し、全国ビルメンテナンズ協会を支える最大の地方組織となりました。

私どもは、ビルメンテナンズ業の社会的使命を果たすことを基本方針に掲げ、建築物における環境衛生の向上、犯罪の防止、治安の維持や災害の防止、建築設備機器の事故の防止などを目指して参りました。このため、調査研究、教育訓練、普及啓発などの事業を通じて人材育成や技術力の向上を図り、業界の地位向上に努めてきました。平成23年には公益法人に認定されています。

近年は、社会貢献事業として障がい者就労支援事業等に取り組むとともに、脱炭素社会の実現など国を挙げた課題にこたえるべく、各種資格の取得促進、品質管理事業の実施など、より質の高いビルメンテナンズの実現に努めております。

昨年は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の選手村ハウスキーピング業務に参画、各国選手はじめ関係者から感謝の言葉をいただきました。また、コロナ禍の下での活動を通じ、業界従事者は社会の存続に欠くことのできないエッセンシャルワーカーとして公

に認知されました。

今やビルメンテナンズ業は、首都東京を支える基盤産業に成長したと言っても過言ではありません。60周年は英語で「ダイヤモンド・アニバーサリー」とも言いますが、その名に恥じぬよう、これからも輝きを放つ活動を展開していくことを誓い、私のご挨拶といたします。



来賓祝辞

東京都知事 小池百合子氏



小池百合子氏

本日は、公益社団法人東京ビルメンテナンス協会創立60周年のダイヤモンド・アニバーサリーということ、心からお慶びを申し上げます。また、優良従業員表彰を受けられる会員企業757名の方々、おめでとうございます。

そして、この春、佐々木会長は藍綬褒章を受章されておられます、こちらのほうも誠に御め下さいとさせていただきます。

1964年の東京オリンピック・パラリンピックを2年後に控え、東京が大きく変わろうとしている昭和37年に設立されたわけでございますが、皆様がビルメンテナンス業の健全な育成に取り組んだ実績が今日の東京につながっていると、言っても過言ではございません。

新型コロナウイルスの流行におきましては、清掃、そして空調設備の管理などを通じて、感染拡大防止の一翼を担われたわけでございます。改めて感謝申し上げます。

そして昨年、2度目のオリンピック・パラリンピックを開催しました。この東京は、皆様方のご協力によって開かれた2020大会、このレガシーをさらに育てて、多様性、そして包摂性にあふれた都市をつくり上げてまいります。

皆様方の障がい者雇用へのご尽力は、東京を持続可能な都市としてさらに発展させることでありましょう。

同時に、感染症、気候変動、エネルギー危機などの危機的な課題が存在しております。中でも、少資源国の我が国が今直面しているのはエネルギー危機でございます。都といたしまして、現在、「H減らす」、「T創る」、「T蓄める」、この頭文字を取り「HTT」とまとめ、

省エネ、節電、それからソーラーパネルなどによって電力をつくること、そして、まだこれから成すべきこととして蓄電がございます。ぜひ今日、覚えて、実行していただきたいと思えます。さらに、ビルの空調など、東京全体とすれば大変大きなものがあり、皆様の協力は欠かせません。この「HTT」というキャンペーンをこれからも繰り返し広げ、ぜひとも皆様の行動を伴う協力をよろしくお願い申し上げます。東京の





未来に向けた取組となります。そして機器、システムの適切な運用改善などで協力を改めてお願い申し上げます。

皆様の専門知識、そして技術の追求によって、快適で健やかな都市環境が創造し続けられることを期待しております。

創立60周年の節目の年でございます。協会のみならず、皆様方のご活躍を祈念申し上げます。一言お祝いの言葉とさせていただきます。

誠にありがとうございます。



東京都知事感謝状授与

東京都知事感謝状は、役員または委員として、協会活動を長年にわたり支え、都内建築物の環境衛生の向上に寄与されてきたことが功績として認められた方々に授与される。

以下12名の受賞者を代表し、当協会名誉会長一戸隆男氏に小池知事より授与された。

7名 五十音順
役員の部

一戸 隆男氏
榎本 寛氏
梶山 龍誠氏
木村 健司氏
田中 光氏
野口 博行氏
森井 博子氏

5名 五十音順
委員の部

宇賀神 宏氏
坂下 祥一氏
鈴木 雅之氏
宮田 孝一氏
横田 英雄氏



来賓祝辞

公益社団法人全国ビルメンテナンス協会

会長 一戸隆男氏



一戸隆男氏

全国協会2800の会員を代表いたしまして、公益社団法人東京ビルメンテナンス協会の創立60周年に際し、お祝いを申し上げます。近年の東京協会と全国協会の関係語る上で、特に思い出されるのは、平成28年に世界ビルメ

ンテナンス大会を東京で開催したことでありま
す。実に24年ぶりの日本開催でした。

この東京国際フォーラムをメイン会場として、ビルメンテナンスフェアTOKYOと合同で実施しました。当時、世界23カ国から753名の参加者と、展示会には1万4000人の来場者を集めました。大成功で幕を閉じた記憶が私の脳裏に鮮明に焼きついております。

さらに、もう一つの思い出が、昨年開催された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会でございます。東京協会をはじめ首都圏4協会とともにビルメン事業共同企業体を結成しました。新型コロナウイルス感染症の影響により1年延期され、前例のない事態でしたが、大会組織委員会から仰せつかった選手村ハウスキーピング業務をしっかりと全うできたと考えております。

2つに共通しているのは、全国協会と東京協会による密接な連携により、これらの大規模な事業を実施できたことであります。東京を訪れた世界各国の皆様は、日本のビルメンの質の高さを存分にアピールできたと私は誇りに感じております。

私は、常々「安全」と「衛生」こそが我が国の文化であると申しております。日本が誇る文化を支えるのが、まさに我々ビルメンテナンスに課せられた社会的な使命であると私は自負い

たしております。

そして、この人と社会を元気にする仕組みをつくるのがビルメンテナンス協会の重要な役割なのであります。

東京ビルメンテナンス協会にとっては、60周年という記念の年、一つの節目でございます。次の10年、20年後の未来を見据え、持続可能な業界のさらなる発展を目指していかねばなりません。明るい未来を目指して、共に頑張りましょう。

今後ますますのご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



選手村にて選手団からのメッセージと共に記念撮影するスタッフ



橋本聖子氏

記念講演

参議院議員 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

会長 橋本聖子氏

昨年の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、全てがコロナ対策でありました。命と健康をどうやって守り抜いていくのかを最大のテーマとして、日々努力を重ねてきました。2021年2月にオリンピック・パ

ラリンピック競技大会の担当大臣を仰せつかり、そのときから一戸全国協会会長や佐々木東京協会会長と一緒に、どのように選手村のサービスをしていくか、事前のワクチン接種や衛生上の様々な環境の整備などの問題を乗り越えるために、日々の打ち合わせを行い、ご理解いただき、業務をしっかりと遂行していただきました。このことが今回の東京大会の成功の全てだったと思っております。

また、警備業の皆様方には全国各地においてジョイントベンチャーという形で、8000人以上の方にお集まりをいただき、連携強化を図り、全てを守り抜いていただきました。

東京大会組織委員会にはサイバーテロ攻撃も含め4億5000万回のアタックがありました。これが、全てを回避することができました。これは東京大会組織委員会が初めての成果であったと、IOCやIPCからも評価をいただいております。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、観光を目的とした選手村からの外出を禁止し、入国から出国までの感染防止策を徹底してやってみました。医療機関を逼迫させないために、独自の医療研究システムを構築するためのチームをつくり、ビルメンテナンス業の皆様方には21棟の選手村、メインダイニング、公共施設やサービスエリア、サービ

スセンターなどに限なく人員を配置していただきました。感染者を出さない、クラスターを発生させないことを徹底していただき、世界の選手や関係者から、ここまできめ細かく心がこもっているお部屋の清掃や管理に「すばらしいおもてなしの国なんですね」という評価をいただきました。これこそが今回の東京大会の成功の鍵だったと思っております。

もう一つ、すばらしい実験を今回させていただいた事例がありました。晴海の選手村の場所はちようど海の端で、選手村からしか流れてこない下水のエリアがあります。どこからの生活用水も混じらない場所でありました。選手村のA棟、B棟エリアから流れてくる下水の調査を性能の高い機械を使って大会期間中に毎日行いました。パラリンピックの期間中には、下水からコロナウイルスが検出されましたが、2026の国と地域が一堂に会する場所だからこそ次世代実験において、日本で一度も見たいこともない菌が検出されたというのは、大きな成果であったと思えます。

それは、人に感染するより前に、環境には感染症がすでに見られているということが今回の実験で分かったということでもあります。

これからの近い将来、どこかの国で、コロナウイルスを超える感染症が発生する確率はあるのだと思います。そのときに、いち早くその

ウイルスをキャッチし、環境や建物から、しっかりと調査や研究をすることにより、人へ感染する前に、対策ができることにつながっていきます。このような調査ができたのも東京大会ならではのことであつたと思います。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を開催することにおいて、大きな迷惑や、負担をかけるのではないかとということばかりを考えておりましたけれども、様々な問題を解決する上において、大会を開催させていただいたということは、大きなレガシーをつくり、そして意義と価値を見出すことができました。

これからバリアフリーの心がこもった共生社会や、多様性と調和というものが根付いた社会をつくり上げていくために、パラリンピックの選手があれだけのパフォーマンスをしてくださったということは、今まで弱者と呼ばれていた方が、社会が変革をして、日本が誰も取り残さない社会をつくり上げようとするることによって、この国の最大の強みにこれから変わっていく転換点が昨年の大会であつたのではと確信をしております。

新たな時代を迎えていく中で、東京大会をやった意義と価値が、より多くの皆さんにご理解をいただき、そしてすばらしい共生社会と多様性と調和の取れた国になっていく、そのために、東京大会組織委員会は、6月30日で解散をする

運びになりましたけれども、歴史が評価をしていただくまで、この大会の成果というものをものもつともつと多くの方に理解をしていただき、そして世界に発信していけるものに育てていきたいと思っております。ぜひ今日ご来会いただいております皆様、そして東京ビルメンテナン協会、全国ビルメンテナン協会の皆様方には後押しをしていただきたいと思っております。結びになりますけれども、60周年を迎えられた東京ビルメンテナン協会の皆様方がよりすばらしい協会に発展されますことを心からご祈念を申し上げます、記念講演にかえさせていただきます。



**東京都福祉保健局健康危機管理
担当局長感謝状授与**

感謝状は、東京都福祉保健局健康危機管理担当局長、佐藤智秀様より授与された。

委員の部 1名

武内基滋氏（富士建物管理株式会社）



佐藤智秀氏 武内基滋氏

会長表彰授与

特別功労役員表彰

狩野伸彌氏（太平ビルサービズ株式会社）

昭和52年から現在まで45年もの間、当協会の理事、会長などを経て、今なお最高相談役として協会の発展にご尽力いただいております。また、平成15年から23年までは、全国協会会長として、その後、現在まで名誉会長にご就任されており、我が国のビルメンテナンス業の発展に多大なご功績を残されました。



狩野伸彌氏

永年功労役員表彰

10年以上、当協会役員を務められた。
大村清保氏（いずみ産業株式会社）
協会監事17年



大村清保氏

吉澤幸夫氏（株式会社サンアメニティ）
協会理事16年9か月



吉澤幸夫氏

会員への感謝状授与

協会創立時以来、協会会員として在籍、また、協会の委員会に委員を派遣された会員10社を代表して、上之原靖氏（株式会社東幸）に感謝状が授与された。



上之原靖氏

協会創立時以来、協会会員として在籍している会員11社を代表して、川俣光一氏（栄和建物管理株式会社）に感謝状が授与された。



川俣光一氏



中野俊哉氏

20年以上、協会会員として在籍している永年会員の302社を代表して、中野俊哉氏（新幹線メンテナンス東海株式会社）に感謝状が授与された。



松本真澄氏

20年以上、協会会員として在籍、また、協会の委員会に委員を派遣された会員66社を代表して、松本真澄氏（日本空港テックノ株式会社）に感謝状が授与された。



東京都交響楽団による
記念コンサート
写真はヴィヴァルディの
「四季」より「春」の演奏

178社757名の受賞者を代表して、立石克史氏（不二興産株式会社）へ優良従業員表彰が授与された。

優良従業員表彰授与



中嶋徹治氏

委員会活動に協力をいただいている会員10社を代表して、中嶋徹治氏（株式会社サンシン）に感謝状が授与された。

閉会のことば



野口副会長

公務ご多忙の中、ご祝辞やご講演を賜りました東京都知事小池百合子様、公益社団法人全国ビルメンテナンス協会会長一戸隆男様、参議院議員で公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会長の橋本聖子様をはじめ多数のご来賓の皆様、特に遠方からお越しいただいた各地区本部及び各県協会代表の皆様には、心から感謝申し上げます。

また、本日は会員企業178社から757名の優良従業員の皆様をご推薦いただき、表彰させていただきました。こうして一堂に会して表彰式を実施できるのは3年ぶりでございます。受賞者の皆様、誠におめでとうございます。これから日々の活動を通して、業界全体の発展に寄与されることを心から祈念するものがございます。

ご来場の皆様には厚く感謝申し上げ、閉会の言葉とさせていただきます。